

西予市 上下水道耐震化計画(上下水道)

西予市 上下水道課
策定 令和 7 年 1 月

1 目標¹

西予市では、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、対策が必要な急所施設について、今後、概ね50年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、被災すると極めて大きな影響を及ぼす急所施設を最優先に耐震化を実施することを目指す。

また、対策が必要な避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等について、今後、概ね30年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間では、法定耐用年数を経過した老朽管路の耐震化を優先的に実施することを目指す。

2 計画期間

令和7年4月～令和12年3月

3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設²の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水共通)	
	施設数	施設名称
対象全施設数	2	西予市立西予市民病院、西予市立野村病院
上下水道管路等の耐震性能確保済みの施設数 ³ (令和5年度末時点)	0	
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 ⁴ (令和12年度末迄)	0	

¹ 目標は、水道事業者等と下水道管理者が相互に調整を行い、記載する。計画期間内に全ての対象施設で対策を実施することが困難な場合には、計画期間内に対策を実施する施設の選定方針や、計画期間外を含め全ての対象施設における対策実施時期の目安等についても記載する。

² 下水道処理区域内において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に上下水道機能の確保が必要な重要施設をいう(緊急点検時における「特に重要な施設」と同じ定義)。

³ 重要施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)と下水道管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びその途中にあるポンプ場)の双方の耐震機能を確保することをいう。

⁴ 耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点)を含め、令和●年度末迄(計画期間は5年程度)に目標とする施設数をいう。

4 下水道処理区域外における避難所等の重要施設⁵の設定⁶

該当なし

⁵ 下水道処理区域外において地域防災計画等で定められている避難所や医療機関等、災害時に水道機能の確保が必要な重要施設をいう。

⁶ 水道事業者等が汚水処理施設の管理者等と調整を行い、汚水処理施設に関する耐震化の状況や計画等を確認した上で設定するものとする。

◀ 西予市 上下水道耐震化重点計画のうち 水道事業等に関する計画 ▶

5 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業及び水道用水供給事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁷
対象全取水施設	24	16,580	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0.0

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	5,047	3,343	11,843	20,233	24.9	41.5
耐震化目標(令和11年度末迄)	5,647	3,343	11,243	20,233	27.9	44.4

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ⁸
対象全浄水施設	13	16,580	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	9,280	56.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	9,280	56.0

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	4,509	7,088	56,274	67,871	6.6	17.1
耐震化目標(令和11年度末迄)	9,556	8,293	50,022	67,871	14.1	26.3

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%) ⁹
対象全配水池	63	14,787	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	4,880	33.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	4,880	33.0

⁷ 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

⁸ 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

⁹ 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6) ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹⁰
対象全ポンプ所	21	45,580	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	13,634	29.9
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	13,634	29.9

6 避難所等の重要施設¹¹に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1) 下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(km)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	0.248	0.673	2.493	3.414	7.3	27.0
配水本管	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0
配水支管	0.248	0.673	2.493	3.414	7.3	27.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0.678	0.673	2.063	3.414	19.9	39.6

(2) 下水道処理区域外における避難所等の重要施設

該当なし

¹⁰ ポンプ所の耐震化率＝耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹¹ 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

7 水道システムの急所施設の耐震化(簡易水道事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹²
対象全取水施設	49	4,005	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0.0

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	0	0	49,751	49,751	0.0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	49,751	49,751	0.0	0.0

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹³
対象全浄水施設	38	3,011	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	3	305	10.1
耐震化目標(令和11年度末迄)	3	305	10.1

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	0	0	8,031	8,031	0.0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	8,031	8,031	0.0	0.0

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m ³)	耐震化率(%) ¹⁴
対象全配水池	60	2,504	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0.0

¹² 取水施設の耐震化率＝耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

¹³ 浄水施設の耐震化率＝耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

¹⁴ 配水池の耐震化率＝耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6) ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m ³ /日)	耐震化率(%) ¹⁵
対象全ポンプ所	14	1,342	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0.0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0.0

8 避難所等の重要施設¹⁶に接続する水道管路の耐震化(簡易水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1) 下水道処理区域内における避難所等の重要施設

該当なし

(2) 下水道処理区域外における避難所等の重要施設

該当なし

¹⁵ ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

¹⁶ 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

◀ 西予市 上下水道耐震化重点計画のうち 下水道事業に関する計画 ▶

9 下水道システムの急所施設¹⁷の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設 ¹⁸	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	2		2		2		2	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路¹⁹

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	0.399	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0.399	100.0
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	0.399	100.0

(3) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までのポンプ場²⁰

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	0.0
耐震性能確保の目標箇所数(令和11年度末迄)	0	0.0

¹⁷ 下水処理場並びに下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

¹⁸ 当該列において、「対象全箇所数」には、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを有する対象の処理場の箇所数を記入する。「耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)」及び「耐震性能確保の目標箇所数(令和●年度末迄)」には、このうち、揚水、沈殿、消毒施設の全てで耐震性能を確保した処理場の箇所数等を記入する。その際、揚水、沈殿、消毒施設のいずれかを持たない処理場について、存在しない施設は耐震性能確保済みとカウントする。(例：揚水施設を持たない処理場について、沈殿、消毒施設が耐震性能確保済みであれば、カウントする。)

¹⁹ 流域下水道の下水道管路については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

²⁰ 流域下水道のポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。

10 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	7.916	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	7.916	100.0
耐震性能確保の目標延長(令和 11 年度末迄)	7.916	100.0

(2) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路の途中にあるポンプ場²¹の箇所数

	ポンプ場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	0	
耐震性能確保済みの箇所数(令和5年度末時点)	0	0.0
耐震性能確保の目標箇所数(令和 11 年度末迄)	0	0.0

以上

²¹ 最終合流地点にあるポンプ場は含まない。

【図面】西予市上下水道耐震化計画（宇和給水区域）

西予市民病院

【耐震化計画管路 L = 430m】

R 7 永長地区配水管布設替設計委託業務
R 8 永長地区配水管布設替工事

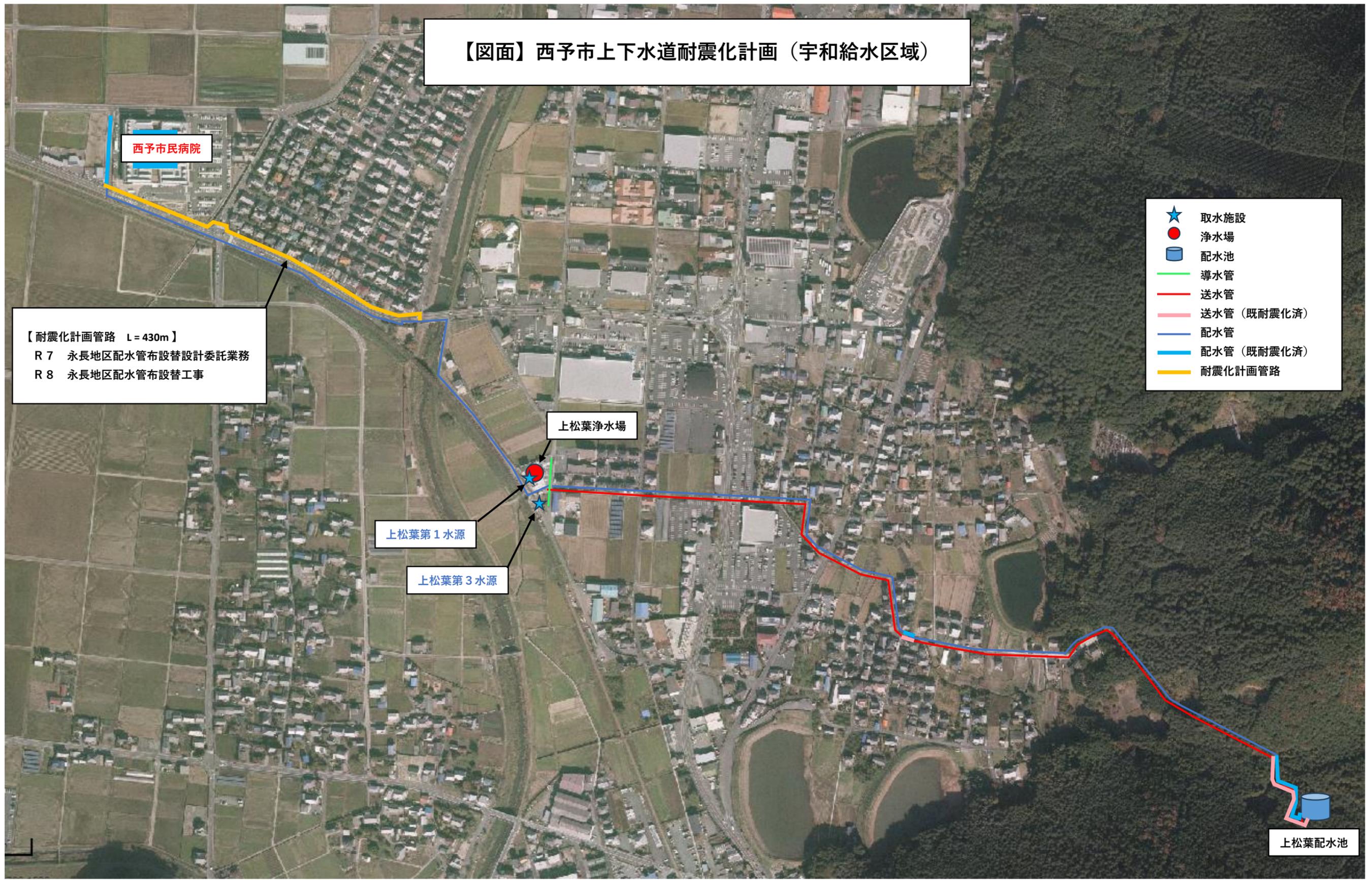
上松葉浄水場

上松葉第1水源

上松葉第3水源

上松葉配水池

- ★ 取水施設
- 浄水場
- 配水池
- 導水管
- 送水管
- 送水管（既耐震化済）
- 配水管
- 配水管（既耐震化済）
- 耐震化計画管路



【図面】西予市上下水道耐震化計画（野村給水区域）

愛宕山配水池

野村支所

野村病院

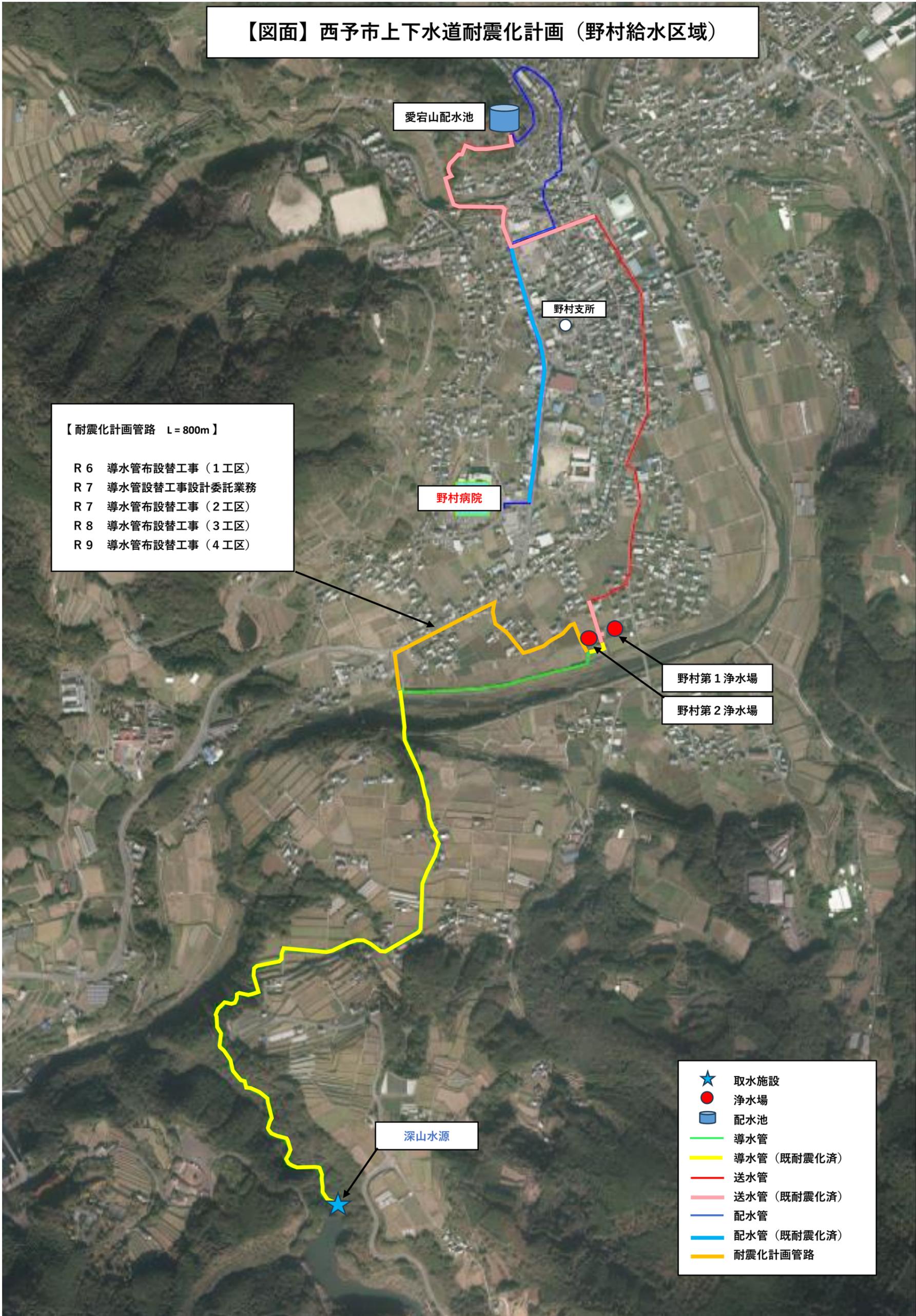
野村第1浄水場

野村第2浄水場

深山水源

- 【耐震化計画管路 L = 800m】
- R 6 導水管布設替工事（1工区）
 - R 7 導水管設替工事設計委託業務
 - R 7 導水管布設替工事（2工区）
 - R 8 導水管布設替工事（3工区）
 - R 9 導水管布設替工事（4工区）

- ★ 取水施設
- 浄水場
- 🗄️ 配水池
- 導水管
- 導水管（既耐震化済）
- 送水管
- 送水管（既耐震化済）
- 配水管
- 配水管（既耐震化済）
- 耐震化計画管路



【図面】西予市上下水道耐震化計画（明浜給水区域①）

狩江配水池

俵津配水池

俵津地域づくり活動センター

狩江地域づくり活動センター

【耐震化計画管路 L = 1,230m】

- R 8 国道378号（俵津）送配水管布設替工事（1工区）
- R 9 国道378号（俵津）送配水管布設替工事設計委託業務（2工区）
- R 11 国道378号（俵津）送配水管布設替工事（2工区）

【耐震化計画管路 L = 720m】

- R 11 国道378号（狩浜）送配水管布設替工事設計委託業務

【耐震化計画管路 L = 710m】

- R 7 国道378号（狩浜）道路改良工事に伴う送水管布設替工事（A箇所）
- R 8 国道378号（狩浜）道路改良工事に伴う送水管布設替工事（B箇所）
- R 10 国道378号（狩浜）道路改良工事に伴う送水管布設替工事（C箇所）

- 配水池
- 送水管
- 送水管（既耐震化済）
- 耐震化計画管路

【図面】西予市上下水道耐震化計画（明浜給水区域②）

【耐震化計画管路 L = 35m】
R 8 高山西川送配水管布設替工事設計委託業務
R 9 高山西川送配水管布設替工事

【耐震化計画管路 L = 680m】
R 10 国道378号（高山）道路改良工事に伴う送水管布設替工事

【耐震化計画管路 L = 35m】
R 6 宮野浦堂面川送水管布設替工事設計委託業務
R 9 宮野浦堂面川送水管布設替工事

【耐震化計画管路 L = 320m】
R 6 国道378号（宮野浦）送水管布設替工事（1工区）
R 7 国道378号（宮野浦）送水管布設替工事（2工区）

Legend:

- 配水池 (Water Reservoir)
- 送水管 (Water Pipe)
- 送水管（既耐震化済） (Existing Seismic Resistant Water Pipe)
- 耐震化計画管路 (Seismic Resistant Plan Water Pipe)



【図面】西予市上下水道耐震化計画（三瓶給水区域）

【耐震化計画管路 L=30m】
R 8 三島川水管橋設置工事（Ⅰ期）
R 9 三島川水管橋設置工事（Ⅱ期）

蔵貫地域づくり活動センター

蔵貫浦水源

三瓶南第1・第2水源

【耐震化計画管路 L=177m】
R 8 国道378号蔵貫浦地区送・配水管布設替工事（3工区）

【耐震化計画管路 L=260m】
R 6 国道378号蔵貫浦地区送・配水管布設替工事（1工区）
R 7 国道378号蔵貫浦地区送・配水管布設替工事（2工区）

辰ヶ崎配水池

- ★ 取水施設
- 🗄 配水池
- 送水管
- 送水管（既耐震化済）
- 耐震化計画管路

下水道管路概要図（宇和处理区）

西予市立西予市民病院

- 避難所等の重要施設に接続する下水道管路
耐震性能確保済みの延長 ——
- 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路
耐震性能確保済みの延長 ——

L = 5.611km

L = 0.327km

西予市宇和浄化センター



下水道管路概要図（野村処理区）

西予市野村浄化センター

L = 0.073km

L = 2.305km

西予市立野村病院

- 避難所等の重要施設に接続する下水道管路
耐震性能確保済みの延長 ———
- 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路
耐震性能確保済みの延長 ———



4000

中心十字線



4000

中心十字線

